

## つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年

	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	3	5	土	8:30	15:30	藤金市民の森	16名
活動名称	藤金里山体験会					報告者: 吉井 優	

### 1、活動目的

私達が市民管理協定で整備している藤金市民の森は、整備された雑木林が清々しく、近隣住民の散策路として親しまれています。藤小の野外学習でも使っていますが、この森を子供たちに積極的にアピールし、楽しさを通して森の大切さを理解してもらいます。自然環境でいろいろな体験をした子ども達は、協調力・忍耐力が増すとされています。なにより、非日常的な行動を体験することにより、好奇心にあふれた、旺盛な知識欲を育成させ、心の豊かな大人に育ってくれることを期待します。

### 2、活動内容ほか

昨年は、同じ時期にコロナ緊急事態宣言がでていたことにより、高倉市民の森里山体験会を中止しました。今年はまん延防止等重点処置等の対策処置等の要請が出ており、この要請に従い、開催を決定しました。いつもの通り、ツリーイング、ハンモック、綱渡り、竹細工体験を実施しました。バンブーパンは、密をさけるためと、食事による感染を警戒しとりやめました。参加人員は、子供72名、大人51名とやや定員割れとなりましたが、コロナ陽性者が激増の後での状況で減小傾向の状態であり、まだコロナに対する警戒感の強いことが大勢と感じられます。

### 3、評価:

子どもの参加者は、定員の7割程度で、ハンモックも綱渡りも並ぶことなく、好きなだけ体験することができました。ツリーイングだけは、いつもの人気があり、予約開始日の、2月15日の1日で定員となり、当日の夜から、予約締切となりました。そして受付開始から続々と藤金市民の森にイベントを楽しみにした親子が訪れ、笑顔があふれました。参加した子供たちは、十分に楽しんでくれたようで、主催者として満足でした。

### 4、課題

最近のイベントでは会員の参加者が減少しています。もう少し会員の参加を希望します。後数人いれば余裕ができます。結果として、中央支え合い協議会と、里山サポートクラブもろやまに、支援を要請していて助かったといえます。

### <里山参加会員>

柳川、牛島、小嶋、内藤、小澤邦、鳶田、木部、吉富、田中  
杉山、松井、柏木、小澤弘、吉井、佐野英、小沼

<活動写真>

